

## 第2学年特別の教科道徳科学習指導案

1 日時・場所 令和4年10月5日(水) 第2校時 2年生教室

2 題材名 「カモノハシ」(いのちといじめを考える授業プラン 50 より)

3 指導にあたって(児童30名)

本学級の児童は、素直で優しく、友だちを大切にしようとする雰囲気がある。困っている友だちを助けたり、友だちの良いところを見つけたり、自然と拍手をしたりするなど、良いところを認め合えるクラスである。4月から、「子どもは成長の途中だから失敗もする。そういうときは素直に謝ったり、行動を改めたりすれば更に成長する。」と繰り返し伝えてきた。また、道徳の授業や、朝の会の話の中で、それぞれの違いを認めることの大切さを伝えてきた。教員が毎日褒め続ける姿を見せることにより、子どもたち同士でも褒め合う様子が見られる。「すなお」「ちがいをみとめる」をキーワードに、1年間を通じて、様々な場面で人権感覚を育てるようにしてきた。しかし、低学年はなかなか自分を客観的に見ることができず、自分ができていないことでも人のことを責めたり、きつい言い方をしたりしてトラブルになることも多い。また、何度注意しても同じことを繰り返すことも多く、指導の継続、積み重ねの重要性を感じている。教師が願っている程、深くはとらえられない年齢でもある。人権感覚はすぐに育つものではなく、学年にあった題材を取り入れつつ、日常の出来事をとらえて日々指導する中でこそ育つものだと感じている。

本題材は、「いのちといじめを考える授業プラン 50」に掲載されている、アボリジニの昔話を題材としたものである。オーストラリアにしか生存していないカモノハシ。珍獣と言われ、哺乳類にもかかわらず卵を産み、見た目も、鳥のようなくちばしや水かきを持っている。そんな違いを受け入れ、自分たちの仲間だと誘う魚や鳥の姿を通して、お互いの良いところを見つけ、違いを認めることの大切さが学べる題材である。このお話をそのまま提示すると、心の揺さぶりに欠けると考えるため、前半は、このお話を元に作った自作教材Aを活用する。違いを認めず仲間外れをする魚や鳥の様子を提示することにより、更に考えを深めることができる考える。

指導にあたっては、カモノハシになじみがないため、カモノハシの生態をクイズ形式で知らせ、興味をもたせたい。その上で、哺乳類としては変わっているということを押さえ、他の哺乳類との違いはあってもいい違いかだめな違いかを考えさせる。仲間外れをされたカモノハシに対して、自分ならどうするかを考えさせることにより、自分事としてとらえさせる。その上で本教材Bを提示し、AとBの違いを考えることにより、教材Bに登場する鳥、魚、牛の考え方の良さに気付かせたい。この1時間だけで人権感覚を育てることは難しいが、「点」の指導ではなく、「つながり」で指導し、この1時間の学びが次への学びにつながるようにしたい。

ICTの活用については、導入でカモノハシを提示することで興味を引きつけたい。自作教材のお話も提示するが、言葉が画面に残らないので、板書と平行して提示する。低学年なので絵や写真を活用し、お話の世界に入り込みやすくしたい。

4 本時の学習

(1) 目 標

違いによって排除するのではなく、お互いの違いを認め合おうとする心情を育てる。

(2) 人権教育の内容 人間関係の活性化 3-(2)-ア

### (3) 展 開

| 学 習 活 動   | ・指導上の留意点と支援      ○評価  |
|---|---|
| <p>1 カモノハシについて知る。</p> <p>2 他の哺乳類との違いは「あってもいい違い」か「あってはだめな違い」かを考える。</p> <p>3 お話 A を聞いて、カモノハシに対して自分ならどうするか考える。</p>                       | <p>・クイズを取り入れ、哺乳類の中では、変わっている生き物だということを押さえる。</p> <p>・大型テレビで写真や動画を見せることにより、興味をもたせる。</p> <p>・「あってもいい違い」であることを押さえることにより、特徴の違いによって仲間外れをすることについておかしいという気持ちをもてるようにする。</p> <p>○「あってもいい違い」か「だめな違い」かを考えようとしている。</p>  |
| <div data-bbox="389 779 1133 835" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分ならカモノハシさんに、なんて声をかけるかな。</div>   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 魚、鳥、哺乳類になって考える。</li> <li>・ ワークシートに書く。</li> <li>・ 近くの友だちと意見を交流する。</li> <li>・ 発表する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話の中に入りながらも、「自分なら」と自分事として考えさせる。</li> <li>○自分ならどうするかを考えようとしている。</li> <li>・ まずは、自分の考えをもたせるために、ワークシートに書かせる。</li> <li>○ワークシートに自分の考えを書くことができる。</li> <li>・ 話し合うときは、ワークシートを見ないで、自分の考えを自分の言葉で発表させる。</li> </ul>   |
| <p>4 お話 B を聞いてお話 A との違いを考える。</p>  | <div data-bbox="389 1272 1126 1321" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">お話 A とお話 B とでは、どこがちがうかな。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話 A と B に出てくる鳥、魚、牛の違いを考える。</li> <li>・ ワークシートに書く。</li> <li>・ 近くの友だちと意見を交流する。</li> <li>・ 発表する。</li> </ul> |
| <p>5 感想を書く。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お話 B では、カモノハシの良いところを見つけて、仲間として認めていることに気付かせる。</li> <li>○お互いの違いを認めることの大切さを知らうとしている。</li> </ul>   |